

会 議 録

会 議 名 称	令和元年度 第3回登米市総合計画審議会
開 催 日 時	令和元年 11月6日(水) 午前10時開会 午後0時閉会
開 催 場 所	登米市役所迫庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者(委員)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 会長 鹿野 良子【副会長】 登米市都市計画審議会 会長 遊佐 正克 登米市男女共同参画審議会 会長 須藤 明美 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 斉藤 敬一 登米市中学校長会 大場 正浩 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 佐々木 猛 登米市文化協会 理事長 鈴木 敬一 一般社団法人登米市医師会 副会長 松本 宏 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 佐々木 栄一 登米市民生委員児童委員協議会 会長 關 嘉基 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉 みどり 登米地域商工会連絡協議会 会長 阿部 泰彦 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 芳賀 稔 みやぎ登米農業協同組合 常務理事 須藤 正美 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 鈴木 香 公益社団法人とめ青年会議所 理事長 石塚 琢磨 以上17人
欠席者(委員)の氏名	登米市景観形成会議 副会長 寺島 洋子 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 猪股 育夫 登米市環境市民会議 菅原 亜希子 以上3人
事務局職員職氏名	【事務局】 企画部 部長 佐藤 裕之 企画部 次長 佐藤 嘉浩 企画部企画政策課 課長 遠藤 貞 企画部企画政策課 課長補佐(総合調整) 平井 崇 企画部企画政策課 課長補佐兼企画政策係長 伊藤 宏一 企画部企画政策課 企画政策係 主事 佐藤 彩
議 題	【協議事項】 (1) 登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略2019年改訂版(案)について (2) 第二次登米市総合計画基本計画の検証(案)並びに見直し(素案)について
会 議 結 果	別添のとおり
会 議 経 過	別添のとおり

会議資料	<p>【資料1】登米市人口ビジョンの変化</p> <p>【資料2】登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況</p> <p>【資料3】登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2019年改訂版(案)</p> <p>【資料4】第二次登米市総合計画基本計画の検証(案)並びに見直し(素案)</p>
発言者	発言要旨
【1 開会】	
事務局	<p>ただいまから、令和元年度第3回登米市総合計画審議会を開会いたします。</p> <p>なお、本日の審議会において、2番 寺島洋子委員、14番 猪股育夫委員、18番 菅原亜希子委員の3人から欠席の連絡をいただいております。</p>
【2 挨拶】	
会長	<p>本日の会議では、総合戦略及び総合計画の見直し、素案でございます。</p> <p>資料もかなり厚くなっておりますけれども、皆様方からの忌憚のないご意見をいただきながら会議を進めさせていただければと思いますので、本日は、よろしく願いいたします。</p>
【3 議題】	
事務局	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題は、登米市総合計画審議会条例第7条の規定により、会長が議長となり議事の進行を行っていただくことになっておりますので、徳永会長よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>はじめに、登米市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により、審議会の会議は、委員の半数以上の出席が必要となる。</p> <p>本日は17名の委員に出席をいただいているので、会議は成立することを確認する。</p> <p>会議録署名人は、3番 遊佐正克委員、4番 須藤明美委員にお願いする。</p> <p>【協議事項】</p> <p>登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2019年改訂版(案)について、事務局からの説明を求める。</p>
事務局	(配布資料1～3に基づき説明を行う)
会長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>人口ビジョンの数値等、1年分追加してより現状に合わせた数値で設定したと思うが、この数値が決定となるのか意見があれば、検討して修正していくというプロセスがあるのかどうか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>内部検討を積み重ね数値を設定させていただいており、人口ビジョンは前提となる数値になるため、この数値を使うことをご理解いただきたいとは考えているが、いただいたご意見は再度、ワーキンググループや本部会議等において検討しながら最終決定していきたいと考えている。</p>
会長	出来ればここで了解をいただき、この数値で進めていければということで

	<p>はあるが、これで最終決定というわけではないようですので、委員の皆様からご意見頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>令和 47 年までこの計画で進めるわけではないと思うが、国では圏域合併について議論されている。このままでは市町村は維持できなくなるため、近い将来必ず圏域合併の話が出てくると思うが市町村ではまだそのような話は出てきていないのか。</p>
事務局	<p>今後そのような議論が進んだ場合にはその時点で計画の見直し等も必要になってくるものと考えているが、現時点では圏域合併の議論は出てきておりません。</p>
委員	<p>2040 年には団塊ジュニア世代が全て 65 歳以上となるため高齢化も加速し、生産人口が減少していくが、人口ビジョンの数値はどの程度精度の高い数値の算出をしているのか。</p> <p>続いて資料 3 の 51 ページ、防災の関係が記載されているが、今回のような自然災害について、どのような取組をしていくのか。</p> <p>また他の委員の意見にもありましたが、世の中がこれだけ変化している中でも、国の方向性は変わらないものなのか。</p>
事務局	<p>まずは、人口ビジョンの精度についてですが、資料 1 の 30 ページ、31 ページをご覧ください。現行計画で 2060 年の目標値が 54,000 人となっております。この目標値については純移動率を高く設定しているためで、現状ここまで高い数値は達成出来ていない。進学や仕事で登米市を離れる人が多くなっている現状があるため、より現状に近い数値に修正した。また、一番大きな要因は合計特殊出生率です。合計特殊出生率については資料 1 の 9 ページに掲載のとおり、若干上向いてはいるが、2030 年に 1.8 を達成するのは厳しいということで、修正しています。ただし、2040 年の 2.07 については、国の方でも 2040 年代にはこの数値まで上げていきたいという流れがありますので、登米市としてもその流れに近づけていけるような取組をしていかなければならないということで、合計特殊出生率は上がるような形で推計をさせていただきました。</p> <p>続いて資料 3、51 ページの防災の関係ですが、こちらの総合戦略については現行の目標値を変えていくという取組となります。今回の台風 19 号のような自然災害に対する取組については、本部会議の中でも意見が出ており、総合計画の中で検討を進めていきたいと考えている。台風 19 号の被害状況については現在検証段階にあるので、次回の審議会までに盛り込んでいきたい。</p> <p>生産年齢人口の減少については、登米市に限ったことではなく全国的な問題でもあります。登米市の人口ピラミッドを見ても、世代的には 60 歳～69 歳までの人口が一番多くなっており、その下の生産年齢人口が減っております。この人口ピラミッドが今すぐ変わるわけではないので、その実情に沿った施策を進めていかなければならないと考える。</p>
委員	<p>日本創生会議が発表した資料によれば、2040 年には日本の市区町村の半</p>

	<p>数が存続の危機にあるなかで、東北は経済も伸び悩み、それに追い打ちをかけるように東日本大震災等の災害が発生し、もっと早いペースで人口減少が進むのではないかと心配している。</p>
会 長	<p>社人研が出している自然増減の予測については動かしようがない数字ですが、出生率を相当高めに予測しているわけなので、それ自体もかなり厳しい状況ではないのかと思う。ただ、一番重要なのは社会増減の部分で、そこが少し上向けば、自然増にも繋がってくると思うので、そこは非常に影響が大きいところですが、現在の予測ではその部分はあまり修正していない。全国的にも同じように人口減少が進んでいるところが多くあるなかで、登米市だけが社会増を増やすことは厳しいと思われるが、最大限努力していくべき。2060年の42,000人という数字はそこを目指すのではなく、最低限の目標として捉えていただきたい。</p>
委 員	<p>国の事業をみると地方がさらに発展する想定で進んでいるが、災害の発生により、地方に仕事を作り安心して働けるようにするということがなかなか出来ていないのが現状ではないか。地方に人の流れを作るといっても、交通アクセスが便利になりむしろ都市圏へ人が流れてしまっているように感じる。</p>
会 長	<p>防災との絡みは非常に大きなところである。高度経済成長期に行った市街地の開発が、災害に弱い街になってしまったということは反省すべき点である。将来像を共有したなかで、持続可能な街にしていくことが重要と考える。</p>
委 員	<p>資料3の38ページ、雇用創出の目標値、39ページ、空き店舗活用事業の目標値について、令和2年の目標値がそれぞれ現状よりかなり高い数値に設定されていますが、何か根拠はあるのか。</p>
事務局	<p>資料2をご覧ください。2ページNo.1雇用創出については平成30年度実績で707人となっております。策定当時の平成26年度登米市においては雇用人数が足踏み状態となっていたため、高めに目標設定することができませんでしたが、その後、企業誘致がうまく進んだことや、有効求人倍率が上向くなどして、雇用創出についてはかなり伸びています。</p> <p>また、2ページNo.6空き店舗活用については、平成30年度実績で83件となっております。現況の実績が積み上がってきている状況から、そのような目標設定にさせていただきました。</p>
委 員	<p>商店街については、以前から空き店舗が多くあったが、震災以降は特に空き店舗の解体が進み、空き店舗ではなく、空き地が多くなっている。</p>
会 長	<p>今の件については資料2を見ればわかるところだが、資料3だけを見た人には分かりにくいところがあるので、平成30年度の実績を追記するなど、わかりやすい表現方法に変更するよう検討していただきたいと思います。</p> <p>今回は1年延長分の目標設定ということになりますので、次期の総合戦略の策定にあたっては、もう少し議論を積み重ねていくということで、よろしく願いいたします。</p>

	<p>それでは、議題2 第二次登米市総合計画基本計画の検証（案）並びに見直し（素案）について事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>（配布資料4に基づき説明を行う）</p>
委員	<p>実施計画の中で施策を検討する段階において、具体的な要望はどの程度取り入れてもらえるものなのか。また財政状況が非常に厳しい中で、どの程度計画が実施出来るのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>実施計画登載の考え方ですが、総合計画に登載した事業については、優先順位を高くして、実施計画に盛り込んでいきたいと考えております。お話いただいたとおり、財政状況は厳しいところもありますが、事業の優先順位の高い（効果が期待できる）順から予算計上され、実施されていくことになると考えています。特に施策と基本事業の中に盛り込まれた文言の具体化が実施計画になっていくわけですが、ここも各担当課において見直しを立てたうえで文言の修正に取り組んでいただくよう、事務局からもお願いをして、このようまとめさせていただいているところです。今後もう少し精査され修正されるところも出てくると思いますが、これまでの3回の議論によって積み上げたものについては、資料のような修正箇所になっておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
委員	<p>道路整備が着々と進み、とても便利になっているが、ストロー現象により他の地域に吸い上げられてしまい、登米市にとってはマイナスとなっている。ストップ・ザ・ストローの対策を講じなければ、ますます人口減少が進む可能性が大きい。具体的な対応策があれば、後に続く商工業者なども、やりがいや生きがいを感じる事が出来るのではないかと。</p>
事務局	<p>今お話しいただいたように、国や県の様々な要望整備を実施しており、以前よりも販売額が減少したというところも実際にあります。新しい道路を建設するという事は、交通が増えることや、インフラが整備されるなど良い面もたくさんあるかと思えます。しかし、市としてそれを補う具体的な施策をどのようにしていくかということは今はお示しすることが出来ませんが、各担当部署において、計画見直しをしているところですので、今後具体的な対応策をお示し出来るのではないかとと思えます。</p>
委員	<p>市の自主財源だけでは立ち行かなくなると思いますので、公民連携で民間を活用しながら事業を進めていっていただきたい。</p>
委員	<p>商工業の発展もいいのですが、登米市には東北本線の駅もあり、仙台へも1時間圏内ということで、ベッドタウン化という人を流入させる発想も必要なのではないかと考えます。特に迫町新田には「東北新生園」という施設もあり、遠い将来においてとても良い施設なのではないかと思えます。若い人が増えると、将来において人口が増え、税収も増えることにつながっていくと思えます。</p>
事務局	<p>登米市においても移住・定住の施策はさまざま展開しております。東京等で開催される移住フェアへの参加など、登米市に来ていただけるような取組</p>

	<p>は続けております。移住フェアや体験ツアーなどを通して、昨年度は9人の方に移住していただいた。数としては多くはないが、今後もこのような取組を続けていきたいと考えている。</p>
会 長	<p>前回の会議においてもそのような議論があったかと思うが、攻めの戦略というものが現在の総合計画の中では見えにくい。例えば県北自動車道が完成したことについても、それだけでは委員さんのお話のようにストロー現象でどんどん吸われていくだけになりかねないので、それをどう生かして攻めていくのかという戦略を考えなければならない。それが今回の見直しですぐに書けるほど戦略を練れるかというところもあるので、具体的には記載することは出来ないかもしれないが、そこは検討していかなければならないという認識はしっかり持っていただきたい。総合計画において、KPIで計測できる目標を掲げたところから、その細かい部分だけに注目してしまい、全体としての戦略が欠けてしまうのではと危惧している。KPIで掲げた以上はしっかりと実行していかなければならないが、それをさらに応援するような戦略や、躓いたときに別の視点から見直してみようということは、5年・10年という時間を待たずに、常に検討していかなければならないことだという認識を持っていただいた中で、書き込めるところは書き込んでいくという進め方をしていただければいいと思います。</p>
委 員	<p>「時代に合った地域づくり」ということをもっと前面に押し出し、真剣に検討していくべきではないかと考える。他と同じような方向性を目指していても生き残れないので、在宅ワークが出来るような企業の誘致や災害に絶対的な強さを持つ取組など、近隣自治体とどのような差別化を図って、他とは違う登米市の魅力をどう発信していくかというまちづくりが大切なのではないか。住みやすい・安心して生活できるまちづくりというものが時代に合わなくなってきている部分は沢山あると思う。</p>
事務局	<p>いただいたご意見につきましては、ワーキング等でお知らせし、反映について検討していきたいと思っております。</p>
委 員	<p>他の自治体に負けないよう、攻めの施策で取り組んでいただきたい。</p>
委 員	<p>資料4、149 ページ現行計画における「現況と課題」の下から2行目、担っていますが～について、次ページ見直し後の「現況と課題」では担っていることから～に文言修正されているが、この修正の意図を教えてください。</p>
事務局	<p>現行計画では変えていこうという意味で書かせていただきましたが、見直し後は有効活用していこうという前提に立った考え方に改めさせていただいたので、修正しております。</p>
委 員	<p>市町村でも農協を見習い行政改革にスピード感を持って取り組んでほしい。</p>
委 員	<p>津山・東和・登米など山を抱えている地域は人口減少が著しい。 市民は地元にあるものよりも市外にあるものに目が向きがちなのではな</p>

	<p>いか。</p> <p>林業の代表をしていると、特に登米市の生産労働者の給与が低いように感じるので、給与調査を実施し精査追及していくべきではないだろうか。生活の安定が幸せの構築に繋がるものと考え。</p> <p>中央の審議会だけでなく、旧町単位でも自分たちで人口減少に歯止めをかけるような取組をしていくのがいいのではないかと。</p> <p>登米市の木材は県内で唯一FSCの認証を取得した認証材なので、有効活用していただきたい。併せて新庁舎建設についても合併特例債が使えることなど、広報を活用し市民にもっと認識を深めてもらいたい。</p>
事務局	<p>現行計画を策定した当初は庁舎建設を目指すという方向で進んでいましたが、現在は建設を行わず既存施設の活用という方向で進んでおります。合併特例債についても、借金には変わりありません。交付税も減少していく中で、自主財源が3割程度しかありません。新たな施設を建設したことにより維持管理経費も増大するため、これからはトータルコストを把握した上での施設整備が重要と考える。</p>
委員	<p>目的を持って頑張っている企業には手を差し伸べ、成長させて登米市ブランドを確立していくことが、行政の役割ではないか。それが登米市らしさの確立に繋がるのではないかと。</p>
委員	<p>学校の統廃合について、移住・定住の条件として挙げられる中に、学校がある・商業施設がある・病院があるという意見が非常に多いと感じる。このことから考えても統廃合により学校を無くすことは人口減少に拍車をかけるのではないかと。発想の転換で小学校を中心とした住宅団地の建設など街の再開発を検討してもいいのではないかと。</p> <p>また、街の駅のような個人経営が難しくなった商店を集めた商業施設の建設を進めてはどうか。</p>
委員	<p>人口が減っても学校を減らすことはせず小中一貫にするなど、他の施策を検討してほしい。街の元気は子供たちがいてこそ成り立っており、子供がいなくなってしまうと、ますます廃れていくのではないかと心配している。</p>
委員	<p>資料4、106 ページ施策 36②の中で、観光施設の整備という文言が2度使われているので、文言を整理したほうがいいのではないかと。</p> <p>同じく104 ページ今後の方向性の下から2行目、交流人口等～とあるが、この「等」は何を想定しているのか教えていただきたい。関係人口というキーワードを盛り込んでいくとソフト事業の展開もしやすくなるのではないかと。</p> <p>市内高校生の就職希望者のうち、市内企業を選ぶのは4割程度に留まっており、6割は市外の企業へ就職している。登米市に住み続けながら市外の企業へ通うということもあるとは思いますが、出来るだけ市内に住んで市内の企業で働いてもらえるような取組み、さまざまなソフト展開が今の人口減少の時代には必要なのではないかと。</p> <p>ソフト事業については全てを行政が行う必要はないと思うので、石巻の</p>

	「石巻 2.0」や気仙沼の事例を参考に民間企業やNPOと協力してソフト事業の新しい方向性を検討してみてもいいのではないかな。
委員	<p>資料4、14 ページ今後の方向性の中で上から9行目「学校運営協議会」との文言があるが、社会教育の方では「コミュニティースクール」としているが、統一しなくてもいいのかな。また同ページ内の図表について、全国平均が100ということが分かるように示した方がいいのではないかな。</p> <p>同じく20 ページ「今後の方向性」の上から3行の中で2行目が唐突な表現に感じるの、もう少し表現を検討していただきたい。</p> <p>同じく24 ページ、「現況と課題」の真ん中あたり、ストレスの起因が運動不足に限定されるような表現になっているので、検討いただきたい。</p>
会長	<p>本日は非常に大きなところで、様々なご意見をいただいたと思います。事務局でどこまで反映できるかというところもあるかと思いますが、事務局の方で検討いただきたいと思います。</p> <p>また、委員の皆さんの中でも今後気づいた点等があれば、事務局まで連絡していただきたい。</p> <p>長時間にわたり、熱心なご議論をいただき、ありがとうございました。</p>
【4 その他】	
事務局	<p>次回の審議会の開催は、令和2年1月17日（金）を予定しております。ご都合をつけていただき、ぜひご出席をお願いします。</p> <p>タウンミーティングについてはこれまで11月に開催予定としておりましたが、まだまだ精査が必要なこともあり、来年5月頃に変更させていただきたい。</p>
委員	マスコミ等を利用し、もっと情報発信をしていただきたい。
【5 閉会】	
副会長	<p>皆様、本日は貴重な力強いご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>自宅で人口減少の表を見ていた時は非常に暗い気持ちになりましたが、今日皆様から時代に合ったまちづくりと攻めの姿勢が必要で、登米市をしっかりと作り上げていかなければならないとの意見を頂戴し、心が明るくなりました。やはり発想の転換ということを中心にしながら、検討していかなければならないと改めて感じました。</p> <p>職員の皆様には連日連夜、資料の作成等ありがとうございます。</p> <p>私たち委員も市民の意見を吸い上げ、攻めの姿勢でどうしたら良い計画が出来るのか考えていきたいと思っております。</p> <p>急に寒くなってきましたが、皆さん健康で元気に過ごしてまいりたいと思います。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>